

まちづくり活動サポート事業 実施報告 No.2



今号では、「南区まちづくり活動サポート事業」として令和元年度に南区自治協議会が委託した6事業のうち、3事業の実施報告を掲載します。

地域史跡文化を理解し、併せて青少年育成事業

庄瀬地域コミュニティ協議会

庄瀬地区は比較的早く開けた地域です。川又家碑文には延暦年間(782~806年)に川又家祖先が荒地を開拓したとあり、馬場屋敷遺跡の下層からは正応2年(1289)と記した鎌倉時代の木簡が出土しています。

今回、まちづくり活動サポート事業では、古い歴史をもつ庄瀬地域に数多く残されている石碑や史跡等を地域の皆さんにもっと理解して頂こうと、案内板の設置と小学生への授業、併せて歴史めぐりマップの作成と配布を行いました。

授業を受けた小学生からは「安兵衛さんみたいな立派な大人になりたい」「勉強したことをお父さんやお母さんにも聞かせたい」等の感想が寄せられました。また、車を停めて案内板を読んでいる地域内外の人が多数見受けられる等の報告もいただいています。

これからも皆さんから地域の歴史への理解をより一層深めていただけるよう、活動を継続していきたいと考えています。



▲小学校総合学習(現地研修)



◀小学校総合学習(教室での説明)

うすいっ子 樽タタキ 復活

臼井地区コミュニティ協議会

臼井コミ協は、今回2回目の事業となります。

以前、戸石地区にあった「戸石こども樽タタキ」が数年前に継続ができなくなり、その樽タタキを臼井小学校で復活させようと考えました。同じものの復活では面白くないので、臼井小学校の校長先生が以前赴任していた笠木小学校の永島流新潟樽砧を参考にしました。校長先生のご尽力により、伝承会の方々から



全児童による樽砧の体験

ご協力をいただき、新しい楽曲、振り付けの作成及び指導をいただきました。全校児童から樽タタキを体験してもらい、その中の10名ほどの児童が参加して「臼井小樽砧」の復活です。



参加者による第1回練習

今年度は1回の練習でしたが、令和2年度からは練習と参加者を増やしていきたいと思えます。今後は、「臼井小樽砧振興会」の発足とお祭りなどへの参加披露を考えています。

ふれあい公園イルミネーション事業

白根大通りあげたい

白根大通りあげたいは、令和元年12月8日(日)~令和2年1月12日(日)までの期間、大通ふれあい公園の駐車場内を電飾や子ども達が作ったペットボトルツリーで飾り、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催しました。



みんなで協力してペットボトルに針金を通します

新興住宅地のため伝統や特色がない地域で、子ども達が他の地域に誇れる、また、自分も大人になったら一緒にやりたい、この地域を離れても帰ってきたいと思うような行事を行いたいと思ひ、取り組んだ事業です。

ペットボトルツリーの制作にあたっては、学校のご協力により4年生の学年行事としていただき、大変うまくいきました。

また、保護者も巻き込んだイベントとなり、ペットボトル集めや制作、飾りつけ作業等で延べ600人以上の方々のご協力を得ることができました。

今後は、さらに工夫を重ね、この地域の冬の風物詩となるよう取り組んでいきたいと考えています。



点灯した様子



※他の3事業は本年3月15日発行の本紙第17号に掲載済み。区ホームページからも見る事ができます。

車を運転しない方の「生活の足」、子供達の「通学の足」であるバス路線を守っていきましょう。

わたしたちは南区の区バスを応援しています。
